

社会福祉学 専攻 _____ 領域（博士前期/修士・博士後期・前後期共通）

試験科目：第 外国語（ ） / 専門科目（ ）

以下の設問から3問を選択し、論述しなさい。

1. 介護保険制度を例に、福祉の市場化がもたらす功罪について、論じなさい。その問題について政府はどのような対策をすべきかを具体的に述べなさい。

（解答例）

以下の①と②の記述内容と文章の論理性を評価ポイントとする。

①福祉の市場化の功罪の両面が論じられているか。一例として、供給主体の多様化にともなう選択肢の拡大、供給量の増加、利用者の判断能力の制約、提供サービスの質の評価、地域格差などがある

②①の指摘に関する、政府の具体的な対策が記述されているか

2. 就業形態の多様化に関し、社会保障制度にはどのような問題が生じるのか、そしてどのような対策を行うべきかを具体的に論じなさい。

（解答例）

以下の①から④の記述内容と文章の論理性を評価ポイントとする。

①就業形態の多様化の現状を理解しているか。一例として、正社員、非正社員、フリーランスなどの労働市場の多様化など。

②社会保障制度に生じる問題の指摘がされているか（一例として、社会保険の未納、セーフティネットの正社員と非正社員の格差など）

③その問題の背景、構造的な分析に関する記述が書かれているか

④対策の具体的な提示がされているか。

3. 地域福祉の推進の主体について1つ挙げ、その役割と課題と述べなさい。

（解答例）

以下の①～③の要素と文章の論理性を評価ポイントとする。

①地域福祉の推進主体を1つ明示できているか

②その主体の役割が具体的に述べられているか

③その主体が抱える課題が述べられているか

4. 生活困窮者への居住支援を進めるにあたっての課題と求められる方策を述べなさい。

（解答例）

以下の①～③の要素と文章の論理性を評価ポイントとする。

①生活困窮者の居住支援における課題が具体的に述べられているか

②制度的・地域的背景を踏まえた説明ができているか

③求められる方策が具体的に述べられているか

5. バイオ・サイコ・ソーシャルモデルについて説明しなさい。また、このモデルに含まれる要素の例をあげるとともに、このモデルの意義と限界について論じなさい。

(解答例)

以下の①～③の要素と文章の論理性を評価ポイントとする。

- ① バイオ・サイコ・ソーシャルモデルが人間を「生物 (Bio)」「心理 (Psycho)」「社会 (Social)」の3つの側面から包括的に捉え、人間の健康状態を各側面の相互作用により成立しているものとして理解するアプローチである点が捉えられているか
- ② 同モデルに含まれる要素 (生物学的側面、心理的側面、社会的側面) について、適切な例示ができているか
- ③ 同モデルの意義と限界が適切に述べられているか

6. グループワークの展開過程と、それぞれの段階におけるソーシャルワーカーの役割について論じなさい。

(解答例)

以下の①～③の要素と文章の論理性を評価ポイントとする。

- ① グループワークの展開過程を、各段階 (準備期・開始期・作業期・終結期) に分けて説明できているかどうか
- ② それぞれの段階が適切に説明されているか
- ③ 各段階に応じたソーシャルワーカーの役割が適切に述べられているか

7. 下記の3つの概念について説明するとともに、これらの概念をふまえたソーシャルワーク実践の意義について、具体例をあげて説明しなさい。「レジリエンス」「ヴァルネラビリティ」「ストレングス」

(解答例)

以下の①～③の要素と文章の論理性を評価ポイントとする。

- ① 「レジリエンス」「ヴァルネラビリティ」「ストレングス」の各概念について適切に説明できているか
- ② 上記の3つの概念を踏まえたソーシャルワーク実践として、クライアント自身の可能性への着目について述べられているか
- ③ 適切な具体例を用いて説明できているか

8. パールマンが「ケースワークは死んだ」と言った歴史的背景と、この言葉がケースワーク発展に与えた影響について述べなさい。

(解答例) 以下の①から③の要素と文章の論理性を評価ポイントとする。

- ① パールマンがこの言葉を提示した1960年代のアメリカの社会状況を踏まえてケースワーク発展の歴史的背景が述べられているか
- ② この言葉がケースワークの何を批判したものであるかが述べられているか
- ③ パールマンのこの言葉は、ケースワークが個人の内面理解に過度に依拠する実践から、社会構造や制度といった側面に積極的に働きかけていく方向へと転換する契機となったことが述べられているか

英語の問題は、問1と問2がある。問1の解答には原稿用紙を用い、問2の解答は横書き罫線の解答用紙を用いなさい。

問1 以下は、リーダーシップがこれまでどのように理解されたかを整理した文である。これを400字以内の日本語に要約しなさい。

（解答例）

リーダーシップは、特定の性格特性によって形成されるものとして、また一つの過程として理解できる。すなわち、リーダーは、カリスマ性などの性格特性や技能・能力を潜在的にもつと考えられ、リーダーシップはリーダーと被指導者との相互作用の過程として理解される。リーダーシップは、リーダーとしての行為から生じるものでもある。人は組織内で特定の役割や機能を割り当てられることでリーダーになる。リーダーシップは常に権力と結びついている。権力はリーダーと被指導者との関係における本質的要素であり、それ自体を否定的に捉えるべきものではない。リーダーシップは相互作用の過程であるだけでなく、個人や集団の内部および相互の結びつきを生み出す。しかし、リーダーや組織の目標への強制的な同調をもたらす現象が観察されることもある。さらに、リーダーシップは活動として捉えることもできる。リーダーは、組織内に変化と変革をもたらす。

（396字）

問2 以下のUNDPの文章を読み、Social Protectionとはどのような方策か、また、国際的なSocial Protectionの状況や、パンデミックにおいてSocial Protectionが果たした役割についてどのように述べられているか、その概要を説明しなさい（字数制限なし）。

（解答例）

「Social Protection（社会保護）」とは、国民の生存権を保障し能力を強化するために国が運用する一連の政策体系である。国際的には、以前から人口の半分や多くの非正規労働者がその対象から外れ、低・中所得国を中心に巨額の資金不足に直面しているという厳しい現状が存在した。しかしパンデミックの下においては、デジタル技術の活用や政治的決断によって未保護層へ迅速に支援を広げる有効なツールとして機能し、その経験を一時的な措置に留めず、誰一人取り残さない（Leave No One Behind (LNOB)）という原則のもとで「ミッシング・ミドル（支援の空白地帯）」をも包含する恒久的な制度へと統合していくことの重要性が示された。